

次世代窓ガラスコート



施工手順

- 1 【事前準備】
- 2 【養生】
- 3 【下地処理（洗浄）】
- 4 【シール（ビート）面の養生】
- 5 【ガラスコート剤の塗布】
- 6 【乾燥】
- 7 【清掃・片付け】
- 8 【施工道具】
- 9 【メンテナンスに係る説明】
- 10 【塗装時の注意事項】

1 【事前準備】

- ① 作業に適した服装で、必要に応じてゴム手袋・マスク・ゴーグル等を着用する。
- ② 施工場所付近の荷物等を移動し作業スペースを確保する。
- ④ 外、内気の確保をする。

**注) 温度は5℃～35℃である事！ 湿度は70%以下である事！
雨の日など湿気の多い日はガラスに結露が発生しますので、
特に注意して下さい！
除湿、空調など出来ない場合は、中止して下さい！**

2 【養生】

- ① マスキングテープ・マスキングカー・ビニールシート等を用いて養生する。
- ② 枠などがホコリ・ヤニ等で汚れている場合は事前に清掃し、マスキングテープを貼れる状態にする。
- ③ ネタ場・作業場などもビニールシート等で床面の養生をする。

※ 木枠・付け枠などの木部にコーティング剤が付着すると浸透してしまうので、養生は十分に行ってください。

3 【下地処理】（洗淨）

☆ガラスコーティング施工で、最も重要な工程になります！☆

☆仕上げにも大きく影響しますので、しっかり丁寧に行ってください！☆

ガラス面の洗淨

- ① **VST-SP（油脂分解洗淨剤）**を用いて、汚れ・油分を除去する。
※ 必要に応じて、汚れがひどい所はスクレーパーで除去して下さい。
- ② VST-SP洗淨後、しっかり水拭きをして下さい。
※VST-SPの成分（ミネラル）が残る場合がありますので、よく確認をして下さい。
- ③ 水を含ませたウエスや霧吹きなどで、水のはじきがないか確認して下さい。

注）水をはじいた場合は、再度①～③工程を行ってください！

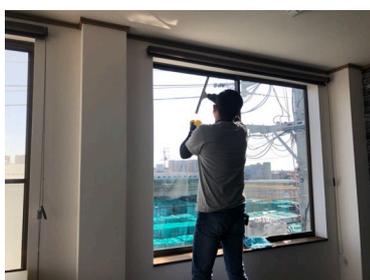
- ④ ガラス面に洗剤が残らないように、水拭きで丁寧に拭き上げる。
- ⑤ 乾拭きをする。※必要に応じて、ドライヤーでガラス面を乾燥させる。
- ⑥ **IPA（イソプロピルアルコール）**にて、脱脂及び水分の除去を行う。

※ 油膜が残っていると、コーティング剤を塗った時にはじいてしまいます。

※ 下地処理の不良によって、剥がれや膨れが起こる場合がありますので注意して下さい。



VSP-SPで洗淨



水切り



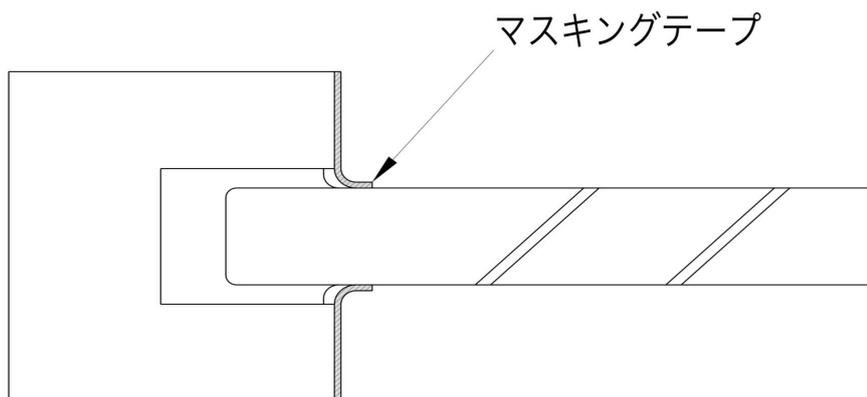
拭き上げ

補 足

従来は、ポリッシャーを使い研磨していましたが、現在はVST-SPを使うことにより作業時間が短縮されました。（15～30分程度）

4 【シール（ビート）面の養生】

- ① マスキングテープを用いてシール（ビート）面の養生をします。



シールからガラス面に1～2mm程度被るようにマスキングします。

5 【ガラスコート剤の塗布】

- ① 異物混入を避けるためにローラー表面を養生テープなどで抜け毛を除去する。
- ② トレイにコーティング剤を入れ、ローラーにムラなく含浸させる。（10g程度）
- ③ 窓の面積に合わせトレイに規定量のコーティング剤を入れローラーに含浸させる。 **必要塗布量（1㎡=13g）**

※ トレイに移すとコーティング剤が硬化しはじめるので、必要量だけ出して下さい。

- ④ ガラス面の上下左右にムラなく、満遍なく塗布します。

注）塗布開始から、2分以内に塗布してください。

窓面積が大きい場合は、作業員を増やして同時に行ってください。



- ※ ローラーハンドルは固定式のストッパー付ハンドルを使用して下さい。
- ※ ローラーの表面の液が乾燥した時は交換して下さい。
- ※ ある程度の塗りムラは経時で均一に広がります。（オートレベリング機能）
- ※ コーティング剤を移し終えた缶、容器の蓋は必ず閉め、こぼれた液は拭き取る。
（コーティング剤は、空気中の水分と反応し硬化始めます。）
（ゴミ付着の原因となります。）

6 【乾燥】

- ① ガラスコートを塗布した面を乾燥させます。
窓（サッシ）は開けずに乾燥させて下さい。
エアコンなども使用しないで下さい。
ホコリ・ゴミなどが付着しないように注意して下さい。

指触乾燥の目安は、**夏場 1～2時間 冬場 2～3時間**

7 【清掃・片付け】

- ① 養生材を撤去し完成です。

8 【施工道具】

養生作業

マスキングテープ / マスカー / ビニールシート

洗浄作業

VST-SP / VST用加圧式スプレー / アルコール（IPA）
霧吹きスプレー / ガラスワイパー / 水拭き用タオル
カラ拭き用タオル / スクレーパー / ドライヤー / 水

塗布作業

BF-G / マイクロファイバーローラー 白虎（短毛）
ストッパー付ローラーハンドル / 角型トレイ（ステンレス製）
アルミホイルorサランラップ / ストップウォッチ / 計量カップ

掃除道具 1 式

9 【メンテナンスに係る説明】

ガラスコートの乾燥時間

- 指 触 時 間 : 夏場 1～2 時間 冬場 2～3 時間
常 温 乾 燥 : 1 日 完全硬化 5 日
強 制 乾 燥 : 70～80℃ x 30 分 完全硬化感想は強制乾燥後 3 日

- ・ 指触乾燥まではガラスに触れない様にして下さい。
- ・ 完全硬化乾燥までは、窓清掃は行わない様にして下さい。
- ・ 清掃にあたっては、中性洗剤を使用して下さい。
- ・ ガラス面の清掃にあたってはカラ拭きはせず、必ず水拭きして下さい。

10 【塗装面の注意事項】

- 塗 装 環 境 ・ 湿気の多く、通気性の悪い環境下での使用は避けて下さい。
- 前 処 理 ・ 素材表面の油分・水分・汚れは溶剤脱脂により十分に除去して下さい。
- 塗 装 ・ 塗装は速やかに行って下さい。(塗布開始から 2 分以内)
長時間放置すると目詰まり、塗りムラの原因になります。
- 乾 燥 ・ 乾燥時に有機ガスが発生しますので換気・排気を十分行って下さい
- 保 管 ・ 塗装は、冷暗所に保存して下さい。
・ 本塗料は空気中の水分と反応する性質がありますので、
ご使用後は密栓して下さい。
- 廃 棄 ・ 塗料の使用残や廃液の処理は製品安全データシートに従って下さい。
- 取 扱 注 意 ・ 可燃性の有機溶剤を使用している為、火気のある所では使用しないで下さい。
・ 皮膚や粘膜、特に眼などに刺激性がある為、接触しないように十分注意して下さい。
・ 接触した場合は多量の水で洗浄して下さい。
- そ の 他 ・ 詳細な内容については、製品安全データシートをご参照下さい。